

## 2022年度光学論文賞

2022年度（第63回）光学論文賞は、堀崎 遼一氏（東京大学）ならびに宮田 将司氏（日本電信電話株式会社 NTT先端集積デバイス研究所）が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

○堀崎 遼一氏:

Ryoichi Horisaki, Yohei Nishizaki, Katsuhisa Kitaguchi, Mamoru Saito, and Jun Tanida, "Three-dimensional deeply generated holography," *Applied Optics* 60, A323-A328 (2021).

○宮田 将司氏:

Masashi Miyata, Naru Nemoto, Kota Shikama, Fumihide Kobayashi, and Toshikazu Hashimoto, "Full-color-sorting metalenses for high-sensitivity image sensors," *Optica* 8(12), 1596–1604 (2021).

授賞式および記念講演は Optics & Photonics Japan 2022（宇都宮大学／栃木県総合文化センター）にて行います。

日 時:

授賞式            2022年11月14日(月) 13:00-14:00（PL会場・栃木県総合文化センター）

記念講演        2022年11月15日(火) 13:00-15:00（B会場・栃木県総合文化センター）

選考委員は以下の通りでした。

委員長: 早崎 芳夫（宇都宮大学）

委員: 高島 譲（University of Arizona）、居波 涉（静岡大学）、大沼 隼志（株式会社フォトニククラティス）、紀和 利彦（岡山大学）、藤田 克昌（大阪大学）、平井 亜紀子（産業技術総合研究所）、吉川 宣一（埼玉大学）